

大雨・台風による被害状況

7月31日から8月23日までの間、4回にわたって発生した大雨等災害の被害状況がまとまりました。特に8月17日から23日にかけては連続して台風が通過した影響で総降水量が約300mmに達するなど、町内全域で大きな被害をもたらしました。先月に引き続き、被害の全体像が明らかになってきましたのでお知らせします。

住宅にも一部被害が、避難勧告を発令した8月20日には、2件の住宅で床下浸水の被害が出ました。この日は夜中にもかかわらず、避難所に44名、親戚や知人宅に5名の方が避難しました。

収穫に大きな影響
南瓜や水稻など、収穫を間近に控えた農作物の多くが被害に遭い、今後の収穫への影響が心配されます。

土木施設被害の状況

種別	箇所数
道路・河川など	181箇所

※道道雨竜旭川線（福原）の通行止めの状況

8月21日午前0時30分頃～ 土砂崩れ・路肩崩落により通行止め
9月5日午前6時頃～ 一部片側交互通行で開通

住宅被害の状況

被害の種類	戸数
床下浸水	2戸



福原で起きた土砂崩れ



西和11線川の仮復旧作業

農業被害の状況



大量の雨水に飲み込まれた南瓜畑

種別	被害の種類	箇所数
農作物	冠水・浸水・表土流出・土砂流入・倒伏	82戸 278.4ha
農業用施設	農道破損・排水埋塞・法面崩落 他	68箇所

避難情報について

町では災害が発生する恐れがある場合など、その状況を確認し避難情報を発令します。発令されたときは、地域で声をかけ合い、まず避難するように心がけてください。

危険度 ↓ 高	種類	発令のタイミング	どのように行動するべきか
	ひなん じゅんびょうほう 避難準備情報	人的被害の発生する可能性が高まり、要援護者など、特に避難に時間のかかる方が避難行動を開始しなければならない場合に発令	高齢者や障がい者、乳幼児のいる世帯など、避難に時間のかかる方は避難所への移動を開始。その他の方は、家族等との連絡や非常用持出品の用意など、避難できるよう準備。
	ひなん かんこく 避難勧告	災害により、人命等への危険が予測される場合に発令	通常の避難行動ができる方は、近くの避難所への移動を開始。
	ひなん しじ 避難指示	災害により、人命等への危険が目前に切迫している場合に発令	直ちに避難を完了する。また、避難できない場合は生命を守るための行動をとる。